ACE Hokkaido 教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
NEWS LETTER Vol.5.11.Nov.1998 ACE北海道

バーチャル雪まつり1999
第1回オフラインミーティング終了報告

VSF1999代表　水越　洋

11月28日(土曜日)に北星学園女子短期大学で、「バーチャル雪まつり1999~ 第1回オフラインミーティング」を行いました。

福井野中、発寒西小、発寒中、平岡小、啓明中、野口チーム、アトリエ・アイリスから参加がありまして、32人の子供達と11人の大人達でのミーティングでした。

武田先生の挨拶からはじまり、その後、VSF(バーチャル雪まつり)代表の私からみなさんにVSFがはじまったきっかけや、過去3回の取り組みを紹介しました。ちょうど武田先生の研究室には、昨年の雪まつり会場での制作風景を収めたビデオ(発寒西小の高橋先生が作ってくれました)がありましたのでこれをみました。さらに去年のホームページなどを見てもらい、今年初めて参加するみなさんにもすこしは具体的に説明できたかと思います。

時間があまりないなか、ミーティングに参加してくれた子供達に、紙に描いたり粘土でつくったりと実際にアイデアを考えてもらいました。詳しくはWEB中継で記録されていますので、ぜひご覧ください。時間がなかったこともあって、なかなか思うようにアイデアをまとめることができなかった人もいたと思いますが、みなさん一生懸命やっていました。今回のミーティングで雪像の大きさや、それをどんな風に作るのかを知ってもらっただけでも、その後のアイデアを展開するときにきっと役に立つはずだと信じて、短い時間でしたが4時ぐらいで一応制作は終了。

ミーティングでの参加者の作品傾向ですが、「生き物=たとえば動物や恐竜など」が大半を占めているようです。これは現在VSFのホームページにのっている作品にもおなじようなことが言えます。いままでもこの傾向はありますが、それは子供たちにとって、生き物というのは非常にとっつきやすい存在であるからだと思います。そのほかにも建物や地球などをアイデアの中に盛り込んでいる参加者もいます。

それで、今年は生き物をテーマのなかに盛り込むことにしてはどうかと思います。去年の雪像はタイトルを「ふれあい～地球と共に生きる～」として、環境問題や人と人とのふれあいということをテーマにしました。今年は生き物を昨年とは違った観点でとらえてみるとどうかなと思います。

みんなで作った粘土の作品を前に。

ミーティングの最後に、私は子供たちに「今年は生き物をテーマの中に入れよう」と言いました。生き物には、現存する動物とか、絶滅した動物、想像上の動物などがいます。また、生き物いがいの他のアイデアを考えている参加者もいますので、そこから雪像のテーマがどのように展開するのかは今後の話し合い次第です。話し合いはVSFのホームページの会議室にて行われます。なお、パスワードがかかってますので、新たに参加の方はメールください。

なお、このミーティングの様子は、ONKOサーバーでWEB中継されました。URLはhttp://onko.ncf.or.jp/vsf99/live/clip/です。現在もそのまま見ることができますので、みなさんチェックしてください。今後もこのような形で、いろいろなミーティングやイベントを後からでも見ることができるよう、心がけます。

参加者からのアイデアもホームページにアップされ、第一回目のミーティングも終わりましたが、これからの参加でも充分楽しめます。バーチャル雪まつりには、いろいろな参加の仕方があっていいと思いますので、みなさんどんどん参加してください。テーマについて考えても結構です。誰かが考えたテーマに基づいて、絵や粘土でアイデアを作ってもいいのです。それを応援するだけでもいいのです。

これからの予定は、それぞれから提案されているアイデアやテーマをまとめあげいくことです。これがなんとも難しいのですがみんなでのりこえましょう。次回のオフラインミーティングは12月19日(ネットワーク・プラザ)において開催されます。そのときはCUseeMeなどによる、札幌・大成・東京の参加校を結ぶオンライン会議もミックスされる予定です。

バーチャル雪まつり1999ホームページ
http://www.miceng.co.jp/VSF1999/

なお、VSF実行委員会では、スムーズなインターネットの環境が持てない参加者に配慮し、ホームページのCD-ROMを配布しております。

VSF1998を運営するためのメーリングリストへの登録。

1. 新規メールを出します。
2. 宛先はvsf99-ctl@onko.ncf.or.jpです。(これをコピー＆ペーストしてください)
3. 本文に# subscribeとだけ書いてください。(これをコピー＆ペーストしてください)
4. メールを送信します

これでバーチャル雪まつりのメーリングリストに自動登録されます。

なお、自動登録の仕方がわからない方、できなかった方はこのレター最終ページのACE北海道事務局：青柳・吉田宛に電話、FAX、またはE-mailで水越(miz@daflex.co.jp)までご連絡ください。こちらで登録手続きをいたします。ホームページのCD-ROMも、ここへご連絡ください。

本気のテクノロジー教育
～アメリカ視察報告～

道都大学短期大学部　野口光孝
nogu@nefarm.ne.jp mnoguchi@dohto.ac.jp

平成10年10月30日から11月11日の日程でアメリカ、カリフォルニア州サンフランシスコとコロラド州デンバーの学校を視察してきました。視察のおもな目的は、これら２地域における教育現場でのコンピュータ利用実態調査です。同行したメンバーは本学の建築の先生ら７名。由水先生も一緒です。　以下は今回訪れた学校の一覧です。学校名（場所、区分、学年、ＵＲＬ）の順で記載しました。今日は個々の学校の説明は省略しますが、全体を通してわかったこと、考えたこと、感じたことなどをいくつか書いてみたいと思います。

---

1)Katherine Delmar Burke School
（SanFrancisco、私立、K1～K8、http://www.kdbs.pvt.k12.ca.us/）
2)Town School
（SanFrancisco、私立、K1～K8、http://www.town.pvt.k12.ca.us/）
3)Sequoia High School
（SanFrancisco、公立、K9～K12、http://www.smcoe.k12.ca.us/suhsd/shs/sequoia. html）
4)Summit Ridge Middle School
（Denver、公立、k7～k8、http://204.98.1.2/middle/summit/index.html）
5)Bradford intermediate school
（Denver、公立、k4～k6、http://204.98.1.2/elem/bradford/index.html）
6)Deer Creek Middle School
（Denver、公立、k7～k8、http://jeffconet.jeffco.k12.co.us/middle/deercreek/）
7)Conifer high school
（Denver、公立、K9～K12、http://204.98.21.1/）
8)Grandview High School
（Denver、公立、K9～K12、http://www.ghs.ccsd.k12.co.us/）

TownSchool にて。手前のテーブルは天版が透明で、ディスプレーが埋め込んであります。

アメリカでは州や郡で教育の方針を決めますが、DenverのSummit Ridge中学校やGr andview高校では教師、親、地元教育行政者が、一緒に数年間ディスカッションしながら学校を作ってきたという話を聞きました。子供たちがどんな教育を受ければよいのか、そしてそのためにどんな設備を持った学校が必要なのかを真剣に議論し合い青写真を作って来たそうです。教育を行うのは学校の教師のみならず、親であり、地域のコミュニティなのだというスタンスなのです。実に理想的なやり方だと言えます。そして、どこの学校でもテクノロジー教育については一貫した育成プランをもって実行していました。テクノロジー教育とは、「新しいコンピュータ技術、ネットワーク技術に慣れ親しんで、その技術を自分たちの生活にうまく取り入れていくことができるようにするための教育」ととらえればよいと思います。Denverの Jefferson郡では、幼稚園から12年生までのテクノロジー教育について、その到達目標と、さらに教える側のスキルを詳細に文書化した「Jefferson County Schools Technology Plan」を郡内の各学校に配布していました。

SummitRidge 中学校にて。数学の教室で説明してくれた校長先生。

各学校はそこに掲げられたプランにそって子供たちを指導していくのです。また同じ Denver の CherryCreek 郡では「District Technolo gy Plan-Targeting Student Achievement Through Technology-」というドキュメントを使って実施していました。訪問したどの学校にも、コンピュータテクノロジーを統括的に指導監督する教師がいます。しかし、彼らはコンピュータサイエンティストではなく語学や、美術などの教師であったりします。指導監督に当たる教師は学校内の他の教師たちを指導し、次にその指導を受けた教師たちが生徒に教えるのです。Ch erryCreek の grandview 高校でコンピュータテクノロジーを指導する女性の教師は、このやり方が定着するまで７年間かかったと言っていました。実はこの教師教育の話を聞いたときに去年行って来た COTF のやり方そのものだったので、「あなたは COTF のプログラムを受講したのですか？」と聞いたところ「COTF は知っているけれど彼らの教育プログラムは受けていない」という答えが返ってきて驚いてしまったのです。このことは他の学校でも同じでした。

さて、渡米前からアメリカの学校ではたくさんコンピュータがあって、インターネットアクセスをがんがんやっているだろうと予想はしていたのですが、本当にそんな光景を目の当たりにしてきました。とにかくどこの学校に行ってもコンピュータが数百台単位であり、そしてどの教室にも必ず5台～10台、あるいはそれ以上あるのです。（iMac と G3 ディスプレイ一体型がとっても多かった）もちろん図書館にもあります。さすがに廊下においている学校はありませんでしたが、子供たちがいつでもどこでも使える環境であることは一目瞭然でした。彼らはコンピュータを授業中いつでも自由に使えることになっています。自分の教室のコンピュータが全部使用中であれば、図書館に行ってもいいし、隣の教室のコンピュータを使ってもいいのです。算数、理科、数学、物理、技術、歴史、美術、イタリア語などでの利用を見てきましたがどこでも同じ環境でした。

また、どの学校でも問題解決能力の育成に非常に力を入れており、そのために積極的にコンピュータを利用していました。一例として3Dソフトを使ったインテリアデザインの勉強、ローラー

bradford 小学校にて。TV 番組を作る子供たち。

コースターを使った物理の勉強（数学的な計算をあらかじめコンピュータでしておく）などがあげられます。

彼らはまた、プレゼンテーション能力の育成も重要視しており、そこでも情報機器は大切な役割を果たしていました。Kath erine Delmar Burke Schoolでは、小学生がKidpixを使ってリンゴからサイダーを作るプロセスについてのプレゼンを、Deercreek中学校では、３人の女子生徒が帰宅時間が遅くなることのメリット、デメリットについてのプレゼンを見せてくれました。また、プレゼンテーションではないのですが、Bradford小学校では子供たちだけの力で学校放送のTV番組作りをしていました。CNN顔負けの出来上がりでしたよ。

正直言って日本はアメリカに10年以上遅れているような大きな不安を感じました。テクノロジーそのものの問題ではないのです。長期的な教育観の再考が必要な時に来ていると思います。社会ではテクノロジーを使う仕事が多い。だから、学校ではそのテクノロジーがどんなもので、どう使い、どんな効果があり、どんな不

bradford 小学校にて。今はない cocoa でプログラミング中。

便があるのか教えなければならないのです。最新のテクノロジーとこれまでのテクノロジーの違い、テクノロジーを使わなくてもいいことの見定め。それがわかる子供たちを育てよう。その議論の上に、高校の役割が何であり、中学校の役割が何であり、小学校、幼稚園の役割は何であるかを考えていかなければならないのではないでしょうか。

なお、この報告は12月12日の支部総会でも行う予定です。

今回は国際特集！ソウルから

大韓民国ソウル日本人学校　深澤　徹
ninguru@ppp.kornet.nm.kr
http://www.pipi.net/ninguru

アンニョンハシムニカ！ソウルのフカザワです。ソウルからの便りですか .....

うーん、それでは「イクサイティングソウル」バージョンで

知人に不定期で韓国徒然日記をEmailで発信しているのがありましてそれの簡単バージョンで徒然します。

○韓国はやはり「儒教の国」

先日、韓国の理科の先生の会（日本で言えば理科教育研究会）で宴会があり出席した。みんなが集まるのが遅かったので「勉強」とか言ってビールをジョッキで３杯くらい飲んでいました。そこに、司会の人が「○×□...」するとみんなはジョッキを下に隠し背筋をぴんと伸ばしその中を校長先生は悠々と歩いて上座へ座られた。うーん儒教の国だと思いました。（校長先生がこられますといったのでした）

学校交流（バレーボール）の時も選手同士が例をする前に校長先生の方を向いて「敬礼」

週に１回洞事務所（区役所）で韓国の方を対象に「にほんごきょうしつ」をやっています。女子高校生から主婦の方までおられますが、私は全体から見て若い方？です。休憩時間がありお茶やお菓子を食べますが私が飲まないと皆さんは絶対手をつけません。儒教精神なんだそうです。先生が手をつける前に食してはいけない。でも、崩れつつあるみたいです。韓国語の家庭教師先生（女子大生）が言っていました。

○ソウルは受験大国！

ソウルは深夜徘徊の子が多いな！と思っていました。飲み会があり３次会へ行こうとする時間帯１１時くらいでも、中高校生が歩いている。ロッテリアやケンタッキでだべっているのです。聞けば塾の帰りだとか ..... そう言えば午後５時ごろ塾のバスが走っています。家に帰ってからも勉強するのだそうです。心なしかやつれているように見えたのは気のせいでしょうか .....

○ソウル付属中学校の公開研究会に参加

すごいです。教室の設備もすごいです。1教室に40インチのテレビそして先生の机にはコンピュータがあり、テレビにつながっているのです。ワイヤレスのCCDカメラがあり生徒のノートや実験の様子もCCDカメラを通して40インチのテレビに映るのです。OHPより教育効果大です。理科室も各机にノートパソコンがあり、融点沸点の実験でしたが「課題解決的学習」で班ごとに計画し実験を行い結果をコンピュータなどを使い発表していました。「生徒主体とする教科指導のあり方.....」ハングルなのでよくわからない .....日本と同じです。!???韓国は科学分野に力を入れていますが本当だなと思いました。しかし、ソウルの小中学校に体育館がないのは不思議です。日本ならあるのに .....

○インターネットフォーンで富良野布礼別小中学校とインターネットテレビ交流を ,....

私の原籍校の富良野布礼別小中学校と近々に生徒間交流を行います。布礼別の先生とはよくやっていますが授業でおこなおうということで準備してきまし　た。結果は後日お知らせします。

○お昼って何を基準にきめているの？

韓国は日本と時差がないのです。でも南中は１時50分くらい。ソウル赴任して数か月は１時間くらい感覚のずれがありました。だって夏８時まわっても明るいのですから。

研究会の様子を生中継しよう

～ WebNote Clip を活用する～

北野台中学校　尾崎　廉
ozakiys@mb.infosnow.ne.jp

毎年数多くの研究会が開催されていますが、その全てに参加することは物理的に不可能ですし興味ある研究会への参加も学校事情で困難な場合もあります。そんな場合、なかなかその研究会の様子を知ることもできませんし、資料を集めるのも大変な作業になります。

こんな時に、昨年あたりから個人がプライベートな目的で無料で利用できる「WebNote Clip」という CGI の存在を、平岡小学校の大橋先生から知らされた私は、日夜、その仕組みを知るための努力を寝ることも忘れ、たこになりながら探っておりました。研究会への参加は自費で行くのが当たり前だし、これなら個人がプライベートな目的での利用に当てはまるだろうし、趣味で研究会の様子を報告するのなら良いだろうということでまずは、よくわからないPC-UNIXに手を染めました。しかし、本来おつむがたこの上、忙しいふりをするのが得意な私は、結局、世の中がさっぱり見えないまま、日々はすぎていきました。稚内の夜も熊本の夜もいつも頭の片隅には引っかかっていたのですが、しかし、さっぱり作業は進みませんでした。

ところが、ある日、突然 FreeBSD2.2.7 を手に入れて何もわからぬまま自作のマシーンにインストールをし始めました。そして研究会シーズンが近づき再度休眠状態に突入。技術家庭科の研究大会が終わって急にやることがなくなり、再度、無謀な挑戦を始めました。ネットワークカードの設定に手こずり、あわやマシンをたたき壊そうかとか、たこになって暴れてしまったりとかしているうちに、救世主登場、「かにさんの8029の石のついたPCIのカードならどんなタコにも大丈夫」というメールの翌日に何と学校に来て下さって、１日お付き合い下さって丁寧にX WINDOW まで動くところまでセットして下さりました。

ここで急に目覚めた私は、本２冊と格闘しながら、アパッチから Netatalk から動くまで個人メールで質問しながら先に進んでいったのです。この結果オーそうだ、あの WebNote Clipが動くに違いないと思いつき、設定をしてみたのですが、当然動くわけがない。Perl は４でした。

そこで、パッケージからperl5をインストールしさらには設定まで頑張ったのでした。その結果、何とClip3.cgiが動きだしパスワードの設定までいったときには、深夜一人驚喜の歓声をあげていたのでした。

わたしできましたわという意味不明な言葉を残し、早速こねっとWebノーツやら登別緑陽中研究会中継用のものやらどんどんあとは簡単にこの仕組みができていきました。

http://onko.ncf.or.jp/lpnet/clip/　こねっと
http://onko.ncf.or.jp/konet/ryokuyo/clip/　緑陽中

緑陽中の研究授業の様子は NTT の玉田さん、我らが ACE の神様半澤先生@祝梅小と３名で前日、室蘭の夜を満喫しながら中継しました。さらに、懲りずに函館宇賀の浦中の発明工夫の研究大会にも押し掛け携帯から中継するという涙ぐましい作業をしました。その夜かっぱ寿司で暴れていたのは僕です。このように、仕掛けさえわかってしまえば、簡単に研究授業の様子やイベントの様子を多くの人たちに報告できるものはどんどん使っていきたいと考えています。時間を見つけて CGI の勉強をもっとやってさらに進んだ仕組みを作る努力をしたいなと考えております。

これもひとえに多くの人に教えていただくということができる環境に今いるからだとつくづくしみじみ感じている今日この頃ですが、どうも睡眠不足がこたえる年になってきたようです。

というわけで、これから研究会の様子を伝える手段を色々考えて多くの人たちに公開できるよう頑張ります。

VSF と Web クリップと、アンカとしてのノート・パソコン

札幌市立平岡小学校教諭 大橋 剛

今、膝の上にノートをのせて書いているのですが、これ、とてもあたたかくて気持ちが良いです。ボクのクラシックな Pentium ノートでもこれだけあたたかいのだから、最新鋭のモバイル Pentium Ⅱ 300 MHzのノートならもっとあたたかいカモ？そうか！インテルは北国のユーザーのためにわざわざこんなにＣＰＵを発熱させていてくれたのね？インテル・アッタマッテル。よし。この冬は、ハイ・スペックのノートを膝の上に乗せて寒さを乗り切ろう。大通り公園でＶＳＦの雪像を作るときは、皆さん、ノート・パソコンを懐に入れて来てね。

これが VSF の Web ノート

というわけで、"VSF1999" Web クリップ・ノーツ担当・大橋です。ええと、皆様おなじみの画像登録 CGI 掲示板 "Web クリップ"ですが、最近尾崎先生もマスターされました。さすがは尾崎先生!(今後は"たこチャット"ならぬ"たこ Web クリップ"が見られるかも?)

最近の Web クリップを使った中継には、

●「登別緑陽中研究発表会中継」
http://onko.ncf.or.jp/konet/ryokuyo/clip
●尾崎先生による「函館：発明工夫の研究大会中継」
http://onko.ncf.or.jp/hatsumei/clip/
等がありましたね。

今回の VSF1999 では、Web クリップをコラボレーションの媒介の中心として活用してくださるそうで、担当者としても力が入ってます。

さて、VSF 専用の Web クリップですが、ブラウザーからの画像のアップは勿論、RealVideo や avi & mpeg & Quick Time ムービー等のヴィデオ・ファイル、また、ショック・ウエーブまでもをアップロードさせることができるようにカスタマイズしました。多様な方法で雪像のアイディアを表現できる訳ですね。参加者の皆様、どうぞお試しあれ。

管理者として少なからず心配なのは、オンコのサーバーへの負担です。実は先日もオンコ・サーバーの HTTP サーバーが止まってしまったのですね。ワタクシと Web クリップがサーバーを止めたハンニンでないことを祈ります・・・まあ VSF 当日は、VSF 参加者の皆様の日頃の良い行いもあって、決して止まる事はないでしょう！

くんくん。なにやらコゲ臭いぞ。あ～っちっち!!こりゃ、あったまり過ぎだあ。これがホントの火アプリの刑じゃ。というわけで皆様、ノートをアンカ代わりに使うときは、ヤケドに十分注意しましょう。

どうなるこれからの情報教育

～学習指導要領案発表される～

発寒中　荒島　晋

7月19日に教育課程審議会最終答申が出され,それを受けて文部省より11月18日に幼小中の学習指導要領案が示された。幼小中については12月に正式に告示される模様。また,間もなく高校の学習指導要領案も提示され,年明け早々にも告示されることになる。いよいよ21世紀の学校教育の姿が全貌をあらわしたともいえる。

先の教課審答申では「情報化への対応」の項を起こし,『平成11年までに公立学校において,小学校では二人に一台,中学校・普通科高等学校・盲学校・聾学校・養護学校で一人に一台の水準で教育用コンピュータの整備が進められている。また,学校における情報通信ネットワークについては,中学校・普通科高等学校・盲学校・聾学校・養護学校は平成十三年までに,小学校は平成十五年までに,すべての学校がインターネットに接続できるよう計画的な整備が進められている。....コンピュータや情報通信ネットワーク等を含め情報手段を活用できる基礎的な資質や能力を培う必要があると考える。』と明言した。

今回出された学習指導要領案では，中学校を例にとると，教科の領域で「国語」以外の教科すべてにおいて「コンピュータ」や「情報通信ネットワーク」の活用が明示された。その姿勢はマルチメディア・コンピュータやインターネットは特別な機器ではなく，あくまでも学習ツールの一つであり，生徒の表現の手段の一つとして提示されている。このことは大いに評価できる。

しかし,コンピュータが一般に普及したとはいえ,まだまだ100%の教員がコンピュータを操作でき,インターネットを利用しているわけでない。特にインターネットを積極的に活用している教員はまだ少数派である。これからの日常的な学内LANを使った教員のグループワーキングや研修のあり方が問われる。当然そこには個人情報の保護と公的機関としての学校の情報開示と積極的な情報の提供(公開)のあり方も問われる。

また，現在の学校のコンピュータの管理は『一部のマニアックな（コンピュータおたく的な）人間』に委ねておけば，何とかなるしかも只でといった風潮がある。本来このようなハードに関わるようなものは学校はパートナーとしての業者と連携して行い，教員は『どう学習に生かすか。どう学習材化するか』といったところに最もエネルギーを注がなくてはならないはずである。業者の選定のあり方と予算措置についてが第二の課題であろう。

これは逆にインターネットを日常的に利用している教員に多く見られるが，「インターネット万能主義」的な問題もある。インターネットだけがコンピュータ活用のすべてであるという誤った考えが見え隠れする。こと授業ではインターネットの利用とパッケージ型ソフトやデータベースをバランスよく利用してこそ，児童生徒により学習効果があるのではないか。さらに，どの情報も学校では無料といった考えも捨て，有料の情報をも活用すべくきちんとした予算措置が望まれるのである。

インターネットを始め高度通信情報社会の波が今まで閉鎖的であるとされてきた学校にも現実のものとしてやってくることになった。学校にとってこの『21世紀の黒船』の対応を見誤ることなく,適切な対応ができ,よりよく活用できるようにしたいものである。

なお，文部省は今回のこの学習指導要領案を他のどのメディアよりも早くホームページで公開したことは多いに評価したい。

追記　事務局　吉田

手前味噌ながら、北海道新聞社　DOSHIN　ホームページ上で新学習指導要領案と関連する連載『学校現場から～「心」は育ったか』をごらんいただくことができます。URLは、http://www3.hokkaido-np.co.jp/shidouan/index.htmlです。

ACE-Netの変更について

FirstClassで運用しているACE-Netですが，今回ACE-Netを管理しているACE北陸支部のミヤコー上位IPSの変更に伴い,ACE-NetのIPアドレスが変更になりました。FirstClassClient（以下FCC）の「設定」をクリックすると「サービス設定」の画面が出ます。その下の方にサーバを設定する欄があります。

変更前　202.239.74.25
変更後　fc-gate.ace.or.jp

と変更します。これ以外の箇所は変更の必要がありません。

ACE-NetはACE全会員にIDを発行できるように物的な準備が整いましたが，いかんせんサーバー管理が手薄なため北海道支部をとってもまだ全員に行き渡っていないようです。速やかに発行できるよう今後も本部事務局と打ち合わせていきたいと思います。

ACE-Netにはゲストで入ることができます。
ID：ACEGUEST
PW：ACEGUEST
です。
FCCはhtt://www.creates.co.jp/からMac版,Win版ともにダウンロードできます。FCIS専用のFCC5.xが出ていますが，必要なのはFCC3.5xですのでお間違えのないようにお願いします。

なお現在IDが発行されているのは以下の方だと思います。

ITOH Akihiko
SHIOTANI Akihiro
KUROYANAGI Eriko
HIRAI Hideki
YAMASHITA HIdeki
MIZUKOSHI Hiroshi
YAMADA Hiroto
AONO Hirouki
MURATA Jyouji
TANAKA Katsuji
MORITA Katsumi
KOMATSU Kazuhiro
SUGIYAMA Ken
OHNO KOuichi
FUJIMOTO Makoto
NAGAKI Masahiko
HANZAWA Masahiro
MISAWA Masami
SATOU Masashi
SAKURAI Masatune
KAWASE Masayuki
KONNDOU Michio
OKUMURA Minoru
SATOU Mitsugu
NOGUCHI Mitutaka
KOIDE Naruhito
TAKEDA Nobuaki
EBINA Nobuhide
YOSHIMIZU Shin
WATANABE Shirou
ARASHIMA Susumu
AOYAGI Takafumi
YOSHIOKA Takashi
UENO Taku
YOSHIMURA Takumi
YOSHIMURA Takuya
TANIGUTI Tatsuo
TAKEUCHI Tatsuya
WAKAYAMA Teruyoshi
ASAKAWA Tetsuya
YOSHIDA Tetsuya
ONODERA Tooru
TAKASE Toshiki
MIKI Toshitugu
OZAKI Yasushi

98 年度 ACE 北海道支部総会
（12 月研究会）のお知らせ

1998 年度の ACE 北海道支部総会（兼 12 月研究会）を、以下の要領で開催します。今回は、道都大学のご協力により、同大の札幌キャンパス（北広島市）を研究会会場として利用させていただき、櫻井学長もご出席下さる予定です。また、終了後は会場を竹山高原温泉に移し、総会と懇親会を行います。皆さん奮ってご参加下さい。

記

■日時：1998 年 12 月 12 日（土）14：00～　（１泊２日）
■会場：道都大学ハイテクアート室（研究会）
　　北広島市中の沢 149 番地　TEL.011-372-3111
　　竹山高原温泉　竹山高原ホテル（総会、懇親会）
　　北広島市富ヶ岡 896-5　TEL.011-373-2827
■内容（予定）：
14:00～17:00　　研究会
・アメリカ西部（サンフランシスコ、デンバー）教育事情視察報告 ---------- 道都大学短期大学部助教授　野口光孝先生
・道都大学札幌キャンパスの情報教育カリキュラムと設備について ---------- 道都大学（由水先生どうですか？）
・東部中学校のネットワーク利用学習「明日のためのその一」 ----------北広島東部中　小谷先生（勝手にお願いします･･･）
ほかを予定しています。
17:00～18:30　　竹山高原温泉へ移動、入浴
18:30～19:30　　夕食
19:30～20:30　　支部総会
20:30～　　懇親会
■費用　10,000 円（１泊２食付）
参加希望の方は、事務局までどうぞ。日帰り参加も OK です。
（aoyagi@hokkaido-np.co.jp、011-210-5506）

※総会の議案（1998 年度事業報告および会計報告、1999 年度事業計画案および予算計画案）は、12 月４日（金）までに「オンコの木」ホームページ（http://www.onko.ncf.or.jp）に掲載します。総会への参加の如何を問わず、ご覧のうえ意見・質問等お寄せいただければ、総会で検討いたします。

編集後記

最近また、メディアリテラシーについて考えることが多いです。再販撤廃、多チャンネル、デジタル化 ...。学校現場にとってのメディアリテラシーとは何かがわかれば学校にインターネットがくることの意義もわかると思うのですが。　（吉田）

CGI のチャットや掲示板が、サーバーやネットワークに負担をかけすぎるので、JAVAに移行すべく久しぶりにJAVAの猛勉強中デス。JDKが何時の間にか1.2になっていたのですね。と、いまだ 1.02 を使用中のワタクシ。だれか1.2持ってない？　(大橋)

早い日は朝７時15分出発という結構強行軍のアメリカ視察の合間に、サンノゼにあるテックミュージアム（http://www.thetech.org/）に行ってきました。新札幌の青少年科学館を５倍くらいの規模にした施設です。ちょうど記念行事期間中で入場無料だったことと、日曜日に行ったこともあって親子連れでいっぱいでした。中に体験実験ブースというのがありました。身近にあるものの音を出してオシロスコープでどんな波形になるかを見る・・・なんていう感じのものが１０種類くらいあるブースです。そこで70歳くらいのおじいさんが６～７人で説明していたんです。聞かなかったけど、現役の技術者がリタイアした後やっていたのかなあ？サンノゼだし。でも、生涯現役っていう感じでよかったなあ。（野口）

（お知らせその一）11 月 27 日（金）、札幌陵陽中で開かれた「第３回北海道 NIE 研究大会」に ACE、NCF 教育 WG として協力しました。「NIE」とは「Newspaper In Education」のことで、新聞を学校教育で活用しよう（新聞社からすれば、してもらおう）という活動です。お察しの通り推進しているのは全国の新聞社が後ろ盾の協議会で、新聞社が嫌いな人たちには「胡散臭い」と思われ兼ねない一面もあるのですが、ACE 北海道ではそんな負の面よりも、NIE に参加したり協力することで学校新聞がパソコン編集になったり、インターネットを活用した授業ができたり、といったプラス面の方が大きいと考えて、数年来協力を続けています。ちなみに道内の実践校は小中高合わせて 26 校、ACE 関係では今年から札幌星園高校が、道内では初めてDTPやホームページとリンクした形での実践に取り組み始め、当日も高瀬先生が発表して下さいました。研究会の様子は（http://onko.ncf.or.jp/nie/ryouyou/top.html）にありますのでご覧下さい。担当校でお世話になりました斎藤亮先生、ありがとうございました。ACE に入会して下さい！
（お知らせその二）本文でもお伝えしましたが、道都短大の野口先生、由水先生が、アメリカ視察の旅からこのほど帰国しました。12 月研究会でそのさわりを発表していただきますが、それだけではもったいないので、１月中旬に、札幌市内の先生を主な対象にして、再度市内中心部で報告会を開催する予定です。日程、場所など追ってご連絡します。なお、先日ヨーロッパ視察に出向いた社会教育総合センターの桜庭さんと、年末から同じくヨーロッパを回る北星短大の武田先生の報告も合わせて、「米欧横断情報教育の旅～日本はこんなに遅れちまった！」と題した報告会になる可能性も十分です。乞うご期待。
　以上お知らせでしたが、12月12日、総会への出席お待ちしています。竹山温泉は知る人ぞ知る（北広市民はみんな知ってるか...）コーラ色の名泉で、温泉評論家の松田忠徳さんが絶賛する露天風呂もあります。総会後は雪見酒でもやりましょう。　（青柳）

今年の冬は早い！札幌のリゾートタウンである西区平和ではもうすでに根雪が、、、。週末はスキーだ。隣の公園で、、、。　（水越）

明後日メディアハンティングの授賞式に行って来ます。うちの学生も３人程参加させていただきましたが、本格的なデジタルコンテンツのコンペがこんなに身近にあると、とーっても励みになるみたいです。企画・運営されてきた皆様方に感謝です。　（見澤）

今年も１年が過ぎようとしています。いよいよ総会だ！　（荒島）

ああ、、、もう、書く場所が・・・ないじゃないか！！　（半沢）

やっと来たら終わってた.....　（武田）

教育とコンピュータ利用研究会　北海道支部
1998 年 11 月 30 日発行
事務局：〒 060-8711　北海道札幌市中央区大通西 3-6
北海道新聞社　情報開発本部内（担当：青柳・吉田）
TEL 011-210-5801　FAX011-210-5532